

令和元年度 清友幼稚園 学校評価 自己評価

作成：清友幼稚園

1. 園の教育目標

幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育をめざしている。教職員との信頼関係に支えられた活動、直接体験、友だちとのかかわりを通じて、個々の幼児が情操豊かで、良き生活習慣や人間関係に向かう意欲や態度を培う保育に取り組む。

本園ではめざす教育目標として次の3項目を掲げる。

1. 心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。
2. 誰とでも手をつなぎあっている子どもに育む。
3. 人の話がしっかり聞ける子どもに育む。

2. 令和元年度、重点的に取り組んだ目標・計画と自己評価

評 価	A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない D 取組が不十分である
-----	---

目標・評価項目	取組み内容	取組み状況	評価
教育・保育内容の充実	今年度より幼稚園型認定こども園としてスタートするが、昨年度まで取り組んできた内容を踏まえ、本園の望ましい体制を再構築しながら、教育・保育の原点を見失わず、さらなる充実を図る。	認定こども園となり、1号園児 220名、2号園児は 21名の 241名。 従来の取組みを大きく変えることなく緩やかに移行できたが、無償化に伴い保育が長時間になる園児が増加しており、保育の質を下げない預かり保育の方法を検討している。	B
	教職員の信頼関係を築き、良好な人間関係の構築を大事にする。フリー教員と担任教員の学年団体制を強固にし、保育の援助指導面と管理面で連携を図る。要支援児についても、他機関との連携を強め、質の高い保育をめざしていく。	学期ごとに全教員でカンファレンスを行った。いちょう学園、みらい等、専門の施設と連携を取り、要支援児其々について訪問支援など詳細な指導を受けることができた。フリーと担任とでうまく連携が取れるように、教員の配置なども常に注意している。	B

①指導内容の 充実	音楽・絵画・体育・英語に引き続き力を入れると共に、従来の教育課程に専門講師の指導計画をスムーズに組み込み、より質の高い教育内容をめざしていく。一人一人の園児の特性に留意しつつ、新教育要領の幼児期の終わりまでに育てほしい姿を育てるような指導計画の改良に努める。	運動会、音楽会、絵画展など目標をもって取り組むことができた。運動・音楽・英語の授業は月2～3回実施し、音楽会では英語の歌も発表した。運動、音楽などは非認知能力の育成にとっても効果があると言われており、日々の専門講師による授業が行事にも繋がって行くように、話し合いを進めている。	B
②保育環境の 充実	外壁（ブロック塀）の改修と園庭の樹木・遊具の整備を行う。季節ごとに花の種蒔・植栽をおこない、自然教育の環境を整える。蔵書・楽器の充実を図る。	5月より園庭とブロック塀の改良工事を行い、8月末でほぼ終了した。夏のキュウリ・トマトの栽培はできなかつたが、保護者会園芸委員の協力を得て、芋ほりを実施。新しい畑で大根を収穫し、ジャガイモを植えた。広い園庭を利用し、園児が自然に触れられるような、散歩道・植物のトンネル・観察池などを設置した。絵本、和太鼓、樽太鼓を購入した。	A
③預かり保育の 充実	認定こども園移行に伴い、長時間の預かり保育利用のためのプログラムの充実化を図る。1号認定児についても、引き続き預かり保育・早朝・延長保育を実施する。	2号認定の園児も含まれるため、1号認定の預かり保育の枠が少なく、保育料の無償化や、新2号への補助などで希望者が増加した為、3学期からは別の保育室も利用し、担任も当番制で手伝って対応している。	B
④食育に対する 取り組み	1号認定児については給食設定は行なわないため、保護者に対してお弁当づくりの意義を伝え、食育に関する必要な情報提供を行なう。	今までに引き続き食育への取り組みを行った。現在2号認定児でも、給食を希望しているのは4名であるが、今後増えることが予想されるので、給食の在り方も工夫していく必要があると思われる。	B
⑤徒歩通園の 取り組み	バス通園をおこなわず、保護者には徒歩通園の意義を伝え、子どもたちの健康づくり・親子関係の育みを目指していく。	自転車通園が多いが、園外での自転車同士の接触事故などもあり、引き続き徒歩通園の意義を伝えていく。また、交通マナーを守って登園していただくよう繰り返しお手紙で啓発し、園児に対しては交通安全教室を開催した。	C

⑥教員の指導力の向上	園内外の研修と指導体制の充実を図り、教員の指導力向上を図る。	園外の研修への参加がしやすい環境づくりに努めた。専門機関との連携の中で、担当指導員とのカンファレンスなどで得た、特別支援教育に関する知識や情報を、教員間で共有した。 世界の絵本のレンタルで、様々な絵本を知る機会を増やした。	B
⑦小学校等との連携	卒園児が就学予定の地域小学校（主に6校）と連携を深め、小1プログラムに対応していく。 地域の中学校・高校等の職業体験の受け入れを行う。	就学前に地域小学校への引き継ぎを早めを開始している。幼保小連携研修に参加し、就園前に幼稚園で取り組むべき課題について理解を深めている。 地域の中学校・高校の職業体験を受け入れ、地域内施設連絡会にも参加して、連携を深めた。	B
教職員の育成・評価・能力開発を図る	定期的な個人面談・園内研修・自己評価を通じて、教職員の能力向上を促す。	学期ごとに個人面談を行い、悩みや課題を聴取している。 それぞれの個人行動目標シートに年度目標、学期目標を設定させ、具体的な行動、振り返りを記録させ、自己評価をさせることによって、能力、資質の向上を図った。 教育実習、インターンシップを積極的に受け入れ、後進の指導にあたった。	B
園の施設、設備、遊具、行事などの総点検	施設、園庭、設備、遊具などの安全を、常時定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善していく。 ブロック塀と園庭の改修工事を行う。照明のLED化を進める。	ブロック塀を安全性の高いフェンスに改修し、危険の予想される樹木の撤去を行った。老朽化した倉庫、遊具に替え、倉庫と遊具を新設した。 安全な低木を中心に、園児が自然に親しめるような植栽を行った。 施設、園庭、遊具の専門業者による遊具の安全点検を行った。また、全職員が常時、子どもの安全面で問題のある箇所について報告し、対応している。 LEDについては今後も進める。	B

安全管理体制の整備、強化	<p>火災、災害などの発生に際して園児、教職員をはじめ園内の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段のマニュアルを改善し徹底する。</p> <p>様々な場合を想定した防災訓練を毎月行う。非常用の水・食料の備蓄を行う。</p>	<p>学校安全委員を置き、最善の通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段をマニュアルにし、さらに確認し合っている。災害時の様々な状況を想定して、毎月訓練と反省会を行っている。保護者参加のお迎え訓練などで、保護者の防災に対する意識の向上を図った。</p> <p>消火器の使用、消火栓の放水訓練が実施できた。</p> <p>非常持ち出し用の備品を整備した。</p> <p>災害時用の水をローリングストックとして備蓄している。</p>	A
	<p>不審者、侵入者などから園児をどう守るか、防御・連携体制を強化する。</p>	<p>監視カメラ、警備員による不審者対策を行っている。園内で2回の訓練の他、八尾警察と不審者の侵入を想定した防犯訓練を昨年に引き続き実施し、対応が向上しているとの評価を得た。保護者証の携帯の徹底に努めた。</p>	B
子育て支援の実施	<p>キンダーカウンセラー事業として、専門家を招聘し、在園児であるなしに関わらず地域の子どもの発達に関する相談に引き続き応じていく。</p>	<p>毎月カウンセリングの日を設け、保護者だけでなく、地域の子育て世帯や教職員の相談にも応じてもらっている。</p>	A
	<p>未就園児の親子登園（さくらんぼ組）を実施し、集団生活の体験、子育ての情報提供や、参加者間の交流の場の提供を行う。</p> <p>絵本の貸し出し、読み聞かせ会、子育て相談を実施する。</p> <p>課外教室の充実を図る。</p>	<p>未就園児親子登園（さくらんぼ組）を実施し、毎回12組の親子が参加した。また音楽講師の指導で、在園児の弟妹向けのリトミック教室を実施した。</p> <p>毎月2回、在園時、卒園児、未就園児に図書室の絵本の貸し出しを行った。保護者有志の協力を得て、毎月絵本の読み聞かせ会を実施した。</p> <p>さくら英語学院、らいおんスポーツクラブ、学研みらいの課外教室を実施した。</p>	A

教職員の勤務、給与について	従来の給与体系を一定維持しつつ、教職員の職務能力に応じた体系に改定していく。時間外労働を抑制し、有給休暇の取得を促進する。 認定こども園移行に伴う土曜日の開園について、保育担当教職員と教育担当教職員の負担の公平性に配慮する。	認定こども園移行に伴い職員の処遇改善に適切に対応した。 昨年に引き続き変形労働時間制を実施し、労働環境の改善と、時間外労働の削減に努めた。時間外労働については今年も減少しており、夏季休暇中に、パート職員も含め、平均5日以上の有給休暇の取得に努めた。 保育担当教員の土曜の出勤の代休もおおむね良好にとることができている。	A
園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開	私学の独自性に配慮しつつ子育て中の保護者が期待する幼稚園像を確認し、地域社会に求められる本園の将来ビジョンの策定は引き続き行なっていく。	保護者アンケートだけでなく保護者から直接、意見を聞き、保護者が期待する幼稚園像を把握しつつ、自治体と密に情報交換しながら、地域の子育て支援に努めた。	B
	保護者と教育・保育状況の情報共有をしていく。	降園時には、保護者ひとりひとりに保育状況を伝えている。 専門講師の授業の保育参観を実施した。行事などの情報の発信に、一斉メールを活用した。	B
	本園ウェブサイトにより、自己評価及び会計情報を公開していく。 ホームページで園の様子や子育て情報の発信に努める。	本園の自己評価・会計情報をウェブサイト公開した。 園での行事などのブログ発信に努めた。	B

3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び今後の課題

B	全般的に概ね目標や計画は達成した。今後さらなる成果があがるよう、具体的な計画を立て、実行していきたい。絵本の読み聞かせ会・貸出しなども定着し、今後も図書の実践に努める。音楽講師のご好意でリトミック教室を実施した。英語の課外教室も好評である。要支援児についても、専門機関との連携が上手くいっている。今後も教職員の教育・保育の質、安全安心の意識の向上にさらに取り組んでいく。子育て支援の親子登園の回数を増やすことを検討しているが、今年は教員の配置等の関係で難しかった。学校安全では、ブロック塀の改修工事を行った。保護者とお迎え訓練を今年も実施し、保護者と教職員の意識の向上に努めた。認定こども園になったことと、保育料の無償化で、預かり保育の需要が増えており、保育の質を落とさずに、どのように受け入れ人数を増やしていくかが、今後の課題となっている。
---	---

4. 学校関係者評価委員会の意見

4. 学校関係者評価委員会の意見

今年度の自己評価の結果は、A段階5項目、B段階13項目、C段階1項目、総合的な評価はB段階とのことであった。

今年度も、3回開催した委員会の前後に泥んこ遊びや運動参観、不審者対応など園児たちの活動や保護者・先生の様子などを見学する時間を設定していただいた。園児たちが元気よく、いきいきと活動している場面を温かく見守る保護者とともに観察することができた。不審者対応では、さすまたを持って訓練する先生方の真摯な様子も観察することができた。また、9割以上の保護者から回答があったアンケート結果も参考にさせていただいた。

以上を踏まえると、本園は教育目標に掲げられている子どもをはぐくむ幼児教育に真摯に取り組まれていると認識した。従って、本委員会としては評価項目に対する各評価は妥当であると判断した。

次に、段階別に評価結果に対する意見を述べる。

A段階の評価であった5項目について意見を述べる。『保育環境の充実』については、園庭とブロック壁の改修が終了した。また、絵本や和太鼓等も購入したとのこと。今後とも恵まれた園庭や図書館等をじゅうぶんに活用した幼児教育の充実に取り組んでほしい。『安全管理体制の整備、強化』については、自然災害等を念頭に様々な状況を想定して訓練されているとのこと。引き続き、園児たちの安全を守る取組に期待する。『子育て支援の充実(2項目)』については、キンダーカウンセラー事業も充実している。未就園児の親子登園も毎回定員が充足している。また、図書の貸し出しや読み聞かせ会も行っている。英語・運動などの課外教室も実施されているとのこと。今後も地域の子育て支援センター的な役割を担ってほしい。『教職員の勤務、給与について』は、認定こども園移行に伴い職員の処遇改善に適切に対応しているとのこと。今後も、教職員が幼児教育にやりがいや魅力を感じることでできる職場環境の醸成を願っている。

C段階であった『徒歩通園の取り組み』については、自転車どうしの接触事故があったと聞いた。送り迎えをされる保護者への交通安全に対する依頼を今後も粘り強く続けてほしい。

B段階の項目であっては、『指導内容の充実』『預かり保育の充実』などについても引き続き真摯に取り組んでいただき、保育の質をより一層充実させるよう願っている。

最後に、保護者アンケートの項目21『保護者会活動が活発で保護者どうしの交流の場になっている』の『交流の場』という文言がどのような場かわかりにくいのではないかと意見が出された。できれば、適切な文言に訂正していただければ有り難いです。

5. 財務状況

公認会計士による年3回の監査において、より安定した経営に向かう努力をしていること、財務状態は適正であることについて評価を受けている。

令和元年度清友幼稚園評価アンケート結果

先日は、幼稚園評価自己診断に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回、221名の保護者の皆様から回答を頂戴しました。保護者の皆様からの評価を真摯に受けとめ、園の経営や、指導法の見直しにつなげていきたいと考えております。幼稚園の教育方針や教育内容をご理解いただいた上で、その取組を評価していただき、その結果を公表し幼稚園を開くことで、さらなる教育充実を目指してまいります。今後とも教育活動推進のためにご協力いただきますよう、何卒よろしくお願いたします。

	そう思う おおむね思う	やや思う	あまり思わない	そう思わない
1 子どもは幼稚園に喜んで通園している	188		30	3
2 教育方針や教育内容・活動についてはよく分かる	159	54		7
3 園は一人一人の子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている	140	71		8
4 園は子どもの自主性や意欲を大切にしようと努めている	150	60		11
5 園は子どもたちが基本的な生活習慣が身につくように努めている	185	36		0
6 園は子どもたちが様々な遊びや活動を通して、集中して話を聞く態度を育てている	165	52		40
7 園は子どもたちが自分の思いが表現できるように努めている	130	77		11
8 園は子供たちが自然とのふれあい、直接体験を通して、命の大切さに気づくように育てている	143	69		9
9 園は子どもたちが友達の思いに気づき、互いに認め合えるように育てている	137	75		9
10 園は集団でのきまりを守る態度を育てている	173	48		0
11 園は小・中学校、高校、地域の人々との交流を通して人とかかわる力を育てている	140	70		11
12 子どもは園内外の行事に喜んで参加している	189	27		40
13 参観、懇談会、様々な行事で、子どもの様子や育ちがよくわかる	157	57		5
14 園内外は清掃が行き届き、衛生的な環境作りに努めている	191	28		0
15 園は子育ての参考になる情報の提供に努めている	105	79	32	5
16 園はホームページなどで情報公開することに積極的である	89	89	24	2
17 園は安全管理に努め、危機管理意識向上に努めている	144	40		2
18 園は個人情報保護に努めている	138	52		4
19 園から出す手紙はよく分かる	137	56		3
20 子どものことを園や教員に相談しやすい	133	67		11
21 保護者会活動が活発で保護者どうしの交流の場になっている	67	96	36	9
22 園は担任だけでなく、園全体で子どもの保育に取り組もうと努めている	143	47		40
23 地域の幼稚園として子育て支援に努めている	87	79	18	2
24 家庭での基本的な生活習慣を育てることができた	124	79		0
25 家庭で子どもとコミュニケーションを図ることができた	134	64		0

回答数 221

令和元年度清友幼稚園評価アンケート(教職員)結果

先日は、幼稚園評価自己診断に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
 今回、26名の職員の皆様から回答を頂戴しました。職員の皆様からの評価を真摯に受けとめ、園の経営や、指導法の見直しにつなげていきたいと考えております。幼稚園の教育方針や教育内容をご理解いただいた上で、その取組を評価していただき、その結果を公表し幼稚園を開くことで、さらなる教育充実を目指してまいります。今後とも教育活動推進のためにご協力いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

	そう思う おおむね思う	やや思う	あまり思わない	そう思わない
1 子どもは幼稚園に喜んで通園している	20	6	0	0
2 教育方針や教育内容・活動についてはよく分かる	18	6	2	0
3 園は一人一人の子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている	17	7	2	0
4 園は子どもの自主性や意欲を大切にしようと努めている	15	8	3	0
5 園は子どもたちが基本的な生活習慣が身につくように努めている	26	0	0	0
6 園は子どもたちが様々な遊びや活動を通して、集中して話を聞く態度を育てている	21	4	1	0
7 園は子どもたちが自分の思いが表現できるように努めている	14	9	3	0
8 園は子供たちが自然とのふれあい、直接体験を通して、命の大切さに気づくように育てている	17	6	3	0
9 園は子どもたちが友達の思いに気づき、互いに認め合えるように育てている	19	6	0	0
10 園は集団でのきまりを守る態度を育てている	26	0	0	0
11 園は小・中学校、高校、地域の人々との交流を通して人とかかわる力を育てている	15	10	1	0
12 子どもは園内外の行事に喜んで参加している	20	4	2	0
13 参観、懇談会、様々な行事で、子どもの様子や育ちがよくわかる	17	7	1	0
14 園内外は清掃が行き届き、衛生的な環境作りに努めている	14	9	3	0
15 園は子育ての参考になる情報の提供に努めている	8	10	7	1
16 園はホームページなどで情報公開することに積極的である	10	10	4	2
17 園は安全管理に努め、危機管理意識向上に努めている	23	3	0	0
18 園は個人情報保護に努めている	20	5	1	0
19 園から出す手紙はよく分かる	20	5	0	0
20 子どものことを園や教員に相談しやすい	10	10	0	0
21 保護者会活動が活発で保護者どうしの交流の場になっている	7	10	5	0
22 園は担任だけでなく、園全体で子どもの保育に取り組もうと努めている	17	7	2	0
23 地域の幼稚園として子育て支援に努めている	12	11	1	1
24 家庭での基本的な生活習慣を育てることができた	7	8	1	0
25 家庭で子どもとコミュニケーションを図ることができた	5	8	1	0

回答数 26